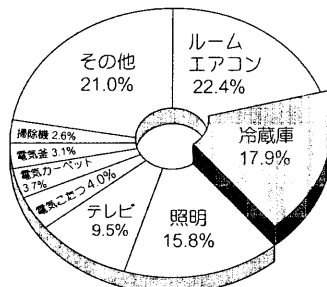
本機種は「'96特定フロン規制対応冷蔵庫」です。

冷蔵庫の冷媒および断熱材の発泡剤に使用されてきたCFC（特定フロン）はオゾン層の破壊を引き起こすとされ、1995年生産が全廃されました。代わってオゾン層破壊への影響がないHFCや影響が少ないHCFCなどに切り替えられています。なお、今後とも地球環境によりよい物質の研究開発等に努力してまいります。

上手に節電するために

ご家庭でたくさん電気を使う冷蔵庫。こんなこともご注意を。

冷やしすぎ

ドアの開けすぎ

1年間に家庭で使う電力の内訳
（資源エネルギー庁平成8年推定実績）

うっかり半ドア

熱い食品やお茶を冷まさず冷蔵

愛情点検

●長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

こんな現象はありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷や変形がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。
- ピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

形　名	
購入店名	
	電話　（　　）
購入年月日	年　月　日

株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)3502-2111

TSK Printing R-32MVP3 R-32MVP3L Ⓐ

R-32MVP3 R-32MVP3L

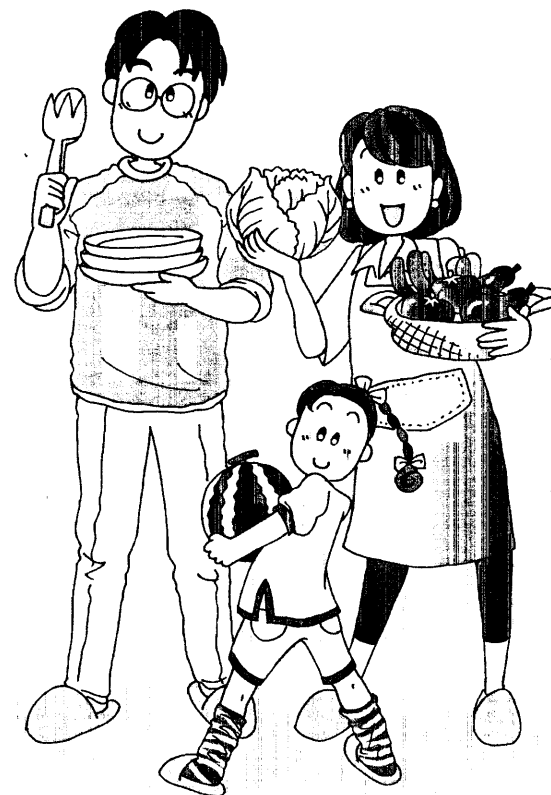
HITACHI

R-32MVP3形

日立冷凍冷蔵庫
取扱説明書

形　名

R-32MVP3形 （右開き）

R-32MVP3L形 （左開き）

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みください。
取扱説明書は保証書・ご相談窓口一覧表と共に大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意

- ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。

⚠警告と⚠注意の意味は次の通りです。

⚠警告	取扱いを誤った場合、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	取扱いを誤った場合、傷害または家屋・家具などの物的損害に結び付く可能性があるもの。

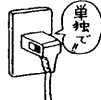
- 本文中の「図記号」の意味は次の通りです。

図記号	意味
!	「必ずしてほしい行為」を表します。
電源プラグを抜く	電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
アース線接続	必ずアース線を接続してください。
禁止	「禁止」を表します。
分解禁止	分解しないでください。
接触禁止	触れないでください。
ぬれ手禁止	ぬれた手で触れないでください。
水ぬれ禁止	水をかけないでください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保存してください。

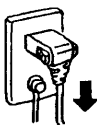
⚠警告

- **定格15A以上のコンセントを単独で使用する**
他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して火災の原因になります。

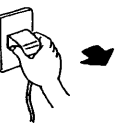
単独で使用する

- **電源は交流100V専用コンセントを使用する**
100V以外では、感電・発火の原因になります。

100V専用コンセントを使用する

- **電源プラグは コードが下向きになるように差し込む**
逆に差し込むと、コードに無理がかかり、感電・ショート・発火の原因になります。

コードを下向きにする

- **電源プラグの刃及び刃の取り付け面に ほこりが付着している場合は よくふき取る**
ほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因になります。

清潔にする

- **お手入れの際は 電源プラグをコンセントから抜く**
感電することがあります。

電源プラグを抜く

- **電源プラグを抜くときは 電源コードを持たずに 先端の電源プラグを持って引き抜く**
コードを持って抜くと感電・ショート・発火の原因になります。

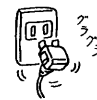
電源プラグを持つ

⚠警告

- **電源コードや電源プラグが傷んでいたり コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

- **電源コードを傷付けたり 加工したり 無理に曲げたり 引張ったり ねじったり たばねたりしない**
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

- **長期間ご使用にならないときは 電源プラグをコンセントから抜く**
絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。

電源プラグを抜く

- **アースを確実に取り付ける**
アースが不完全な場合、故障や漏電のときに感電することがあります。
（詳しくは☞7ページ）

アース線接続

- **庫内灯を交換するときは 交換する前に電源プラグをコンセントから抜く**
感電することがあります。

電源プラグを抜く

- **ガス漏れに気づいたら 冷蔵庫やコンセントに触れずに ガスの元栓を閉めて換気する**
引火爆発し、火災ややけどの原因になります。

換気をする

- **異常時（こげ臭いなど）は 電源プラグを抜き 運転を中止する**
異常のまま運転を続けると、感電や火災の原因になります。

電源プラグを抜く

- **可燃性スプレーを近くで使わない**
引火する危険があります。

禁止

- **電源プラグを冷蔵庫の背面で押し付けない**
電源プラグが傷付き、過熱・火災の原因になります。

禁止

- **引火しやすいものは入れない**
爆発する危険があります。

禁止

- **電源コードを冷蔵庫の脚や家具などで踏まない**
感電・火災の原因になります。

禁止

- **地震などによる冷蔵庫の転倒防止の処置をする**
震動により冷蔵庫が転倒し、けがの原因になります。
（詳しくは☞7ページ）

転倒防止をする

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

● 上に水を入れた容器を置かない
こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

水ぬれ禁止

● 分解・修理・改造は絶対にしない
感電・火災・けがなどの原因となります。分解・修理が必要なときは、販売店にご相談ください。

分解禁止

● 上に重量物を置かない
ドアの開閉で落下し、けがをすることがあります。

禁止

● ドアにぶらさがったり 引き出しドアに乗ったり よりかかったりしない
冷蔵庫が倒れたり、ドアがはずれたり、手をはさんだりしてけがをすることがあります。

禁止

● 水をかけない
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

水ぬれ禁止

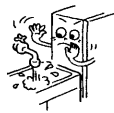
● 医学品や学術資料は入れない
家庭用冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。

禁止

● 冷蔵庫を廃棄処分するときは ドアパッキングをはずす また 幼児が遊ぶ場所に放置しない
幼児が閉じ込められると危険です。

パッキングをはずす

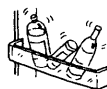
● 湿気の多いところや 水がかかるところに据え付けない
絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

水ぬれ禁止

● ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。

ぬれ手禁止

⚠注意

● 小物ポケットに不安定で倒れやすいビン類や缶類を立てて入れない
落下して、けがの原因になります。

禁止

● ジャンボボトルポケットにボトル類を無理に入れない
ドアの開閉でポケットがはずれ、けがの原因になります。

禁止

⚠注意

● 冷凍室内の食品や容器（特に金属製のもの）には ぬれた手で触れない
凍傷の原因になります。

接触禁止

● 冷凍室にビン類を入れない
中身が凍って割れ、けがの原因になります。

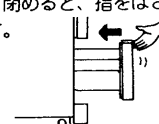
禁止

● 食品を棚より前に出さない
食品を棚より前に出すと、ドアが閉まらなくなったり、ドアポケットに入れたビンなどを割り、けがの原因になります。

禁止

● 引き出し式ドアを閉めるときは 取っ手を押して閉める
ドアの上面や下面を持って閉めると、指をはさむなど、けがの原因になります。

取っ手を押す

● 冷蔵庫の底面に手を入れない
冷蔵庫の底面には鉄板があり、けがの原因になります。

接触禁止

● 冷蔵庫を運搬するときは 運搬用取っ手と下部調節脚を持つ
ほかの部分を持つと、手がすべって、けがの原因になります。

確実に持つ

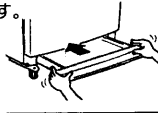
● 運搬するとき 扉開閉するとき 冷蔵室上側・下側のヒンジ部に手をかけない
指をはさんで、けがをすることがあります。

接触禁止

● 据え付け時や お手入れをした後に 蒸発皿が正しく取り付けられているかを確認する
正しく取り付けられていないと、除霜水が漏れ、床や壁などを傷める原因になります。

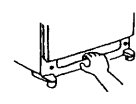
蒸発皿を確認する

● 異臭がしたり変色した食品は食べない
腐敗により、病気の原因になることがあります。

禁止

● 蒸発皿をはずしたあとの 冷蔵庫下部に手を入れない
内部に放熱器が収納されており、やけどやけがの原因になります。

接触禁止

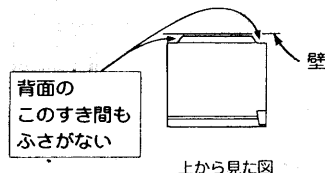
● 床が丈夫で水平なところに据え付ける
不安定な所に据え付けますと、ドアの開閉などで冷蔵庫が倒れ、けがの原因になります。
（詳しくは☞6ページ）

水平に据え付ける

● 傷つきやすい床の上で 冷蔵庫下部のキャスター（車輪）は使用しない
キャスター（車輪）により、床板を傷つける恐れがあります。

禁止

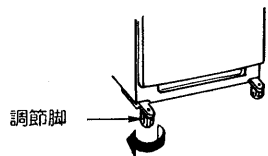
据え付けるとき

周囲にすき間をあけて

- すき間がないと冷却力が弱まり、電気代のムダになります。
- 背面は壁にピッタリ付けて据え付けられますが、振動音が出るときや壁材が変色するときは、壁から少し離してください。

⚠警告

- **電源プラグを冷蔵庫の背面で押し付けない**
  電源プラグが傷付き、過熱・火災の原因になります。

床が丈夫で水平なところ

- 調節脚を矢印の方向に回して床に着け、安定させてください。不安な据え付けは、転倒や騒音・振動の原因になります。
- 冷蔵庫底面の熱により変色する恐れのある、じゅうたん、畳、塩化ビニール製の床材などの場合、または床が弱い場合は、丈夫な木板を敷いてください。

矢印の方向に回すと調節脚が下がります。

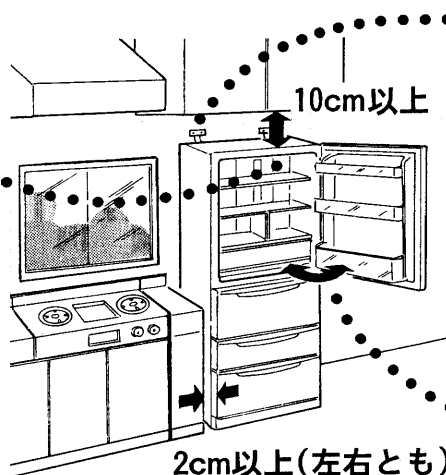
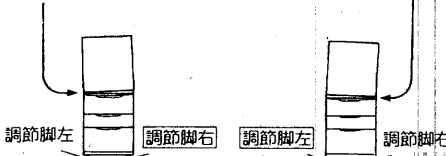
⚠注意

- **床が丈夫で水平なところに据え付ける**
  不安定な所に据え付けますと、ドアの開閉などで冷蔵庫が倒れ、けがの原因になります。
- **蒸発皿が正しく取り付けられているかを確認する** 正しく取り付けられていないと、除霜水が漏れ、床や壁などを傷める原因になります。

熱気・湿気の少ないところに

- 直射日光やガスレンジなどの熱の影響を受けると、冷却力が弱まり、電気代のムダになります。

⚠警告

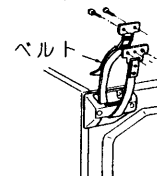
- **湿気の多いところや 水がかかるところに据え付けない** 絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。

扉の平行調整は

調節脚右を下げてください。

調節脚左を下げてください。

※調節脚を回す量は扉段差1mmにつき1回転を目安に調節してください。冷蔵庫本体が床になじみ、扉段差が直るまでにある程度日数(1~5日)がかかる場合があります。

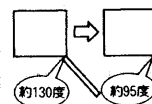
地震にそなえて

- 背面の左右に冷蔵庫用転倒防止ベルトを掛け、先端を丈夫な壁や柱に固定してください。

別売品：部品番号 R－826CV－300
標準価格 870円(税別)×2個使用
(平成10年6月現在)

⚠警告

- **地震などによる冷蔵庫の転倒防止の処置をする**
  震動により冷蔵庫が転倒し、けがの原因になります。

冷蔵室ドアの開き角度調節について

- 開いたドアが家具などに当たって傷がつく恐れがあるときは、ドアの開き角度を小さくすることができます。部品および取り付け作業や費用など、詳しくは販売店にご相談ください。

	部品番号
R-32MVP3	R-41D1-150
R-32MVP3L	R-41D1L-150

移動するときは

調節脚を上げると、簡単に動かせます。
床が傷つきやすい場合は、シートなどを敷いてください。
傾けて移動するときは、製氷皿や蒸発皿の水を捨ててください。

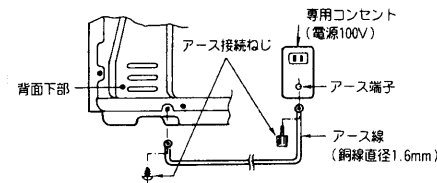
転居などで運搬するとき

- 横積みしないでください。
  圧縮機の故障の原因になります。
- 50/60Hz(ヘルツ)共用です。

アース線の接続について

- 感電防止のため、土間・洗い場の床・地下室など湿気や水気のある場所に据え付ける場合は、必ずアースをしてください。

  別売品：**「アース線(2.5m)」** 部品番号 **NW-60R6 52**
  標準価格 **300**円(税別) (平成10年6月現在)

- コンセントにアース端子がある場合
  アース線(付属していません)を使い、背面下部の〈アース接続ねじ〉に接続してください。

- コンセントにアース端子がない場合
  お買い上げの販売店または電気工事店に依頼し、アース工事(D種接地工事・有料)をしてください。

次のようなところに接続しないでください。

- 水道管
- ガス管(爆発・引火の危険)
- 電話線のアースや避雷針(落雷のとき危険)

⚠警告

- **アースを確実に取り付ける**
  アースが不完全な場合、故障や漏電のときに感電することがあります。

漏電しゃ断器について

水気の多いところ(魚店・豆腐店など常時床面に水気のあるところ)に据え付ける場合は、アースのほかに漏電しゃ断器を設置することが義務づけられています。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

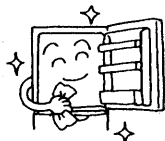
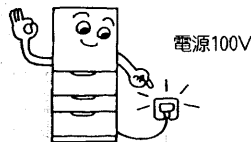
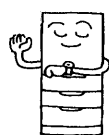
⚠注意

- **冷蔵庫を運搬するとき運搬用取っ手と下部調節脚を持つ**
  ほかの部分を持つと、手がすべってけがの原因になります。

使いはじめ

●冷蔵庫は、「食品の鮮度をよくするもの」ではなく、あくまでも「食品が傷むことにある程度のブレーキをかけるもの」です。
取扱説明書に従って正しく使用し、適切な食品管理を心がけてください。

はじめに

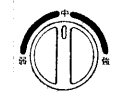
1 庫内を清掃する
しめらせた柔らかい布で

2 専用コンセントに接続する

3 じゅうぶん冷えてから食品を入れる
プラスチックのにおいは庫内が冷えるとなくなります。

食品の貯蔵場所

●温度は、周囲温度30℃、各室温度調節を「中」にして、食品を入れずにドアを閉め、各棚の上やドアポケット・容器などのほぼ中央で測定した値です。

お願い ●冷蔵室棚の奥に水気の多い食品（豆腐・野菜など）を入れないでください。温度が低いため、凍ることがあります。
●冷凍室にビン類を入れないでください。中身が凍って割れることがあります。

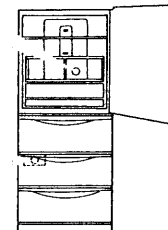
温度調節

●通常は『中』の位置でお使いください。
必要に応じて、〈温度調節ダイヤル〉で調節できます。

冷蔵室温度調節

強	"中"より約2℃低くなります。
中	約3～6℃
弱	"中"より約2℃高くなります。

冷凍室温度調節

強	"中"より約2℃低くなります。
中	約-18～-20℃
弱	"中"より約2℃高くなります。

※夏場の特に暑い時期に扉開閉をひんぱんに行うと、アイスクリームが柔らかくなることがあります。その場合は冷凍室ダイヤルを"強"でお使いください。

お願い
冷蔵室・野菜室の食品が凍結する場合
●冷蔵室温度調節を"弱"にしてください。
●温度調節が"強"のときは、"中"に戻してください。
●冬など、周囲温度が5℃以下のときは、各温度調節を"弱"にすると、凍りにくくなります。
●野菜室の底面に葉物類を寝かせて入れた場合、まれに凍結することがあります。食品包装用トレイなどを敷いて入れてください。（野菜室は容器の周りから間接的に冷却しており、容器底面の温度が低くなっているためです）

上手な食品の入れ方

すき間をあける
詰め過ぎると、冷気の流れが悪くなります。

食品は清潔に
食品には、意外に多くの汚れが付いています。

密閉して
ラップや密閉容器を利用すれば、乾燥やにおい移りを防げます。

冷ましてから
熱いものは、他の食品の温度を上げ、電気代のムダにもなります。

新たな食品をかさねない
冷えていた食品の温度が上がります。

冷気の吹き出し口をふさがない
冷気の流れが悪くなります。

庫内の食品温度のはかり方

冷蔵庫は、JISに基づいて厳重な品質管理のもとで生産していますが、庫内の温度は冷蔵庫の据え付け状態や外気温、使用条件などにより変化します。
しかし、庫内の食品は、8割前後が水分であるために比熱が大きく、その温度は空気のように大きく変化はしません。
従って、一般の空気温度をはかる温度計では変化の少ない食品温度の測定ができません。
そこで、空気温度の影響を受けにくく、食品に近い温度を示す〈冷蔵庫用温度計〉を発売しています。ご購入の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、一般のアルコール温度計で庫内の食品相当温度をはかる場合は、冷蔵室中段の棚の中央に約100mlの水を入れた容器を置き、感温部を3時間ほど浸しておくと、食品に近い温度が得られます。

●冷蔵庫用温度計の測定値は、扉開閉頻度、外気温、設置場所、庫内の冷気対流、冷凍機の運転・停止などの影響を受けて変化しますので、冷蔵庫用温度計の取扱説明書をよく読んでお使いください。

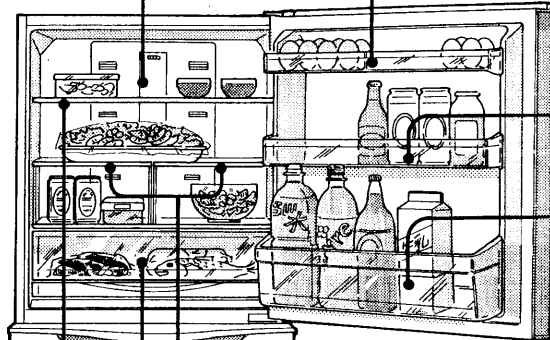
冷蔵室

卵ポケット

卵ケースを裏返しにすると、市販のパックのまま入れることができます。

⚠注意

- 小物ポケットに不安定で倒れやすいビン類や缶類を立てて入れない
  落下して、けがの原因になります。
- ジャンボボトルポケットにボトル類を無理に入れない
  ドアの開閉でポケットがはずれ、けがの原因になります。

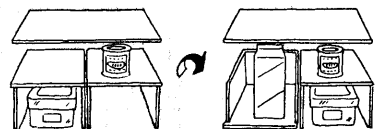
氷　温　室

氷温は、魚介類や肉類の鮮度を長持ちさせる、約－１℃付近の温度帯です。

貯蔵する食品

生もの
- 肉類 ●魚類 ●貝類 ●さしみ…など

加工品
- ハム ●ソーセージ…など

市販の氷温食品
- 一夜漬け ●みそ漬け…など

ひっくり返るん棚

普通の棚として　　棚をひっくり返すと背の高い食品が入ります。

お願い
- ドアを閉めるときは、氷温室のケースを押し込んだ状態で閉めてください。
  ケースを引き出した状態でドアを閉めると、ケースや食品を破損することがあります。
- 冷蔵室の棚の奥に水気の多い食品(豆腐・野菜など)を入れないでください。温度が低いため、凍ることがあります。
- 卵ケースは、卵を入れたまま持ち運ばないでください。卵の大きさによっては、穴から落ちることがあります。

野菜室

スライド小物ケース

くだものや小物野菜の貯蔵に。

- スライド小物ケースをはずして使うと、野菜室の温度が低くなり、また高湿に保てません。
- スライド小物ケースに、５kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

野菜ケース

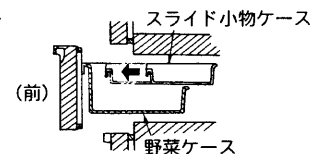
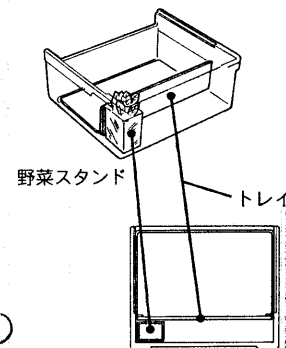
- 野菜ケースに、12kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。
- 野菜ケースに食品を入れる時は、スライド小物ケースの下面より上に食品が出ないようにしてください。食品やスライド小物ケースを破損することがあります。

⚠警告

- 野菜室ドアを引き出した状態でよりかかったり、ぶらさがったりしない
  冷蔵庫が倒れたり、ドアがはずれたりしてけがをすることがあります。

野菜スタンド

野菜を立てて収納するときなどに。

野菜スタンド　トレイ

野菜トレイ

汚れたときは、水洗いできます。

貯蔵してはいけない食品

バナナ・メロン・パパイヤ・パイナップル・アボガドなどは、熟成が進みにくくなり、変質することもあります。
なお、食べる前に冷蔵庫で冷やすことは差し支えありません。

貯蔵しなくてもよい食品

カボチャ・ごぼう・玉ねぎ・いも類・にんにく・根しょうがなど

お願い
- 野菜から出た水がケースやトレイの底にたまったときは、ふきんなどでふき取ってください。
- 野菜の量や種類によって、スライド小物ケースの底面などに結露することがあります。
  ふきんなどでふき取ってください。
- 水洗いした野菜は、よく水気を切ってから入れてください。
- 長ねぎ、にら、わけぎなど、他の食品へのにおい移りが気になるものは、ラップして保存してください。

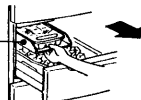
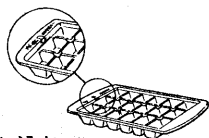
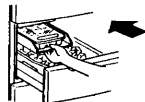
〈一口メモ〉 ●野菜は、切らずに貯蔵したほうが日もちします。

冷凍室

製氷皿（フタ付き）

セットするとき水をこぼしにくく、におい移りも防げます。

製氷皿の使いかた

1．"製氷皿受け"を引き出す。

2．製氷皿に水を水位線まで入れる。

3．"製氷皿受け"を押し込む。

お願い

- "製氷皿受け"の移動は静かに行ってください。水がこぼれることがあります。
- 製氷皿を図のような方向に、折り曲げないでください。割れることがあります。

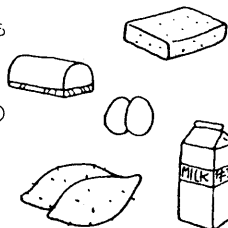
⚠注意

- **冷凍室内の食品や容器（特に金属製のもの）にぬれた手でふれない**
  凍傷の原因になります。
- **冷凍室にビン類を入れない**
  中身が凍って割れ、けがの原因になります。

下段ケース

大きな食品や長期間貯蔵する食品を入れます。
- 下段ケースに、10kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

フリージングに向かない食品

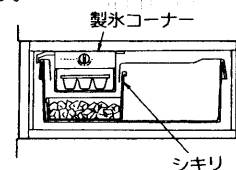
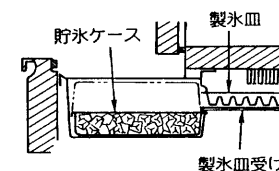
- じゃがいも、さつまいも
- かまぼこ、ちくわ
- 豆腐、こんにゃく
- ゆで卵、生卵（カラつき）
- 牛乳、マヨネーズ
- 筍、ごぼう、ふき

上段ケース

- 上段ケースに、7.5kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

貯氷ケース

お願い

- 貯氷ケースはシキリ部が中央になるよう設置してください。逆に設置しますとシキリ部が製氷コーナーに当り、ドアが開閉できなくなります。

- 水が貯氷ケースより上に出ないようにしてください。
  ドアの開閉ができなくなることがあります。

- 貯氷ケースで製氷しないでください。割れることがあります。

冷凍室の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は＊＊＊＊（フォースター）です。
冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C9607）に定められた方法で試験したときの冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。

■ JISの試験方法は次の通りです。
- 冷蔵室の温度が0℃以下とならない範囲で、最も低い温度になるよう温度調節ダイヤルを調節して、試験を行います。
- 冷蔵庫の据え付け場所の温度は15～30℃の範囲を基準としています。
- 冷凍室有効内容積100L当たり4.5kg以上の食品を24時間以内で－18℃以下に凍結できる性能の冷凍室を、フォースター室としています。

記号	＊＊＊＊ フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	－18℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3カ月

■ 市販冷凍食品の貯蔵期間
冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。

■自動霜取りについて（霜取り操作は不要です）

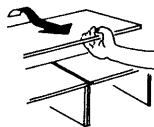
- 冷却器に付いた霜は自動的に溶けます。溶けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。
- JIS（日本工業規格）では霜取り中および霜取り終了後の冷凍負荷温度（食品温度）の上昇が、5℃以下と規定されています。

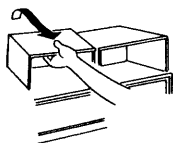
部品のはずしかた

■取り付けかたは、はずしかたの逆の順序で行います。
■ドアを９０度開くだけで、部品の取りはずし、取り付けができます。

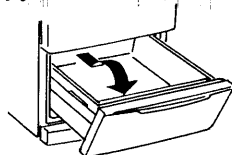
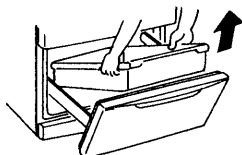
うすいん棚

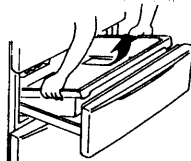
奥を持ち上げ、手前に引きます。

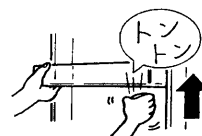
取り付けるときは、奥面に当たるまで押し込んでください。

ひっくり返るん棚

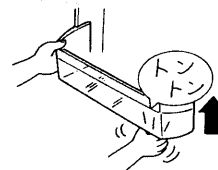
奥を持ち上げ、
手前に引きます。

下段ケース

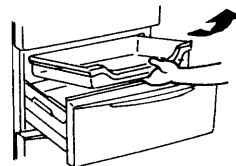
1 ドアを引き出します。

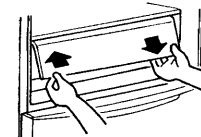
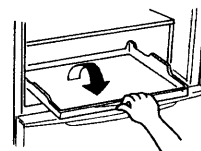
2 少し持ち上げ、さらに引き出し、ドアを床に着けます。

3 図のように持ち上げます。

上段ケース

矢印の方向にはずします。

卵・小物ポケット

ポケットの取り付けは固くしてありますので、左右の底面を軽く突き上げながらゆっくり押し上げてください。

ジャンボボトルポケット

ポケットの取り付けは固くしてありますので、左右の底面を軽く突き上げながらゆっくり押し上げてください。

スライド小物ケース

図のように引き出します。

氷温ケース

■フタを両手で持ち、右側を手前に引き、左側を奥に押し込みはずす。

■ケースを図のように引き出す。

⚠注意

- 野菜室ドアを勢いよく引き出したり 食品を入れたまま引き出さない
  ドアがはずれたりしてけがをすることがあります。

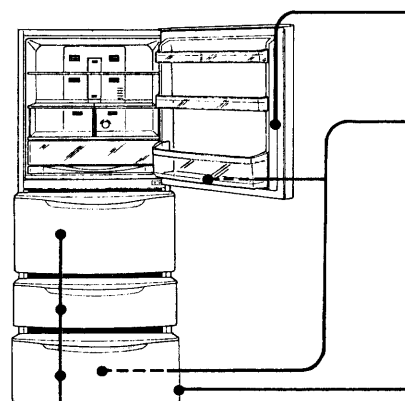
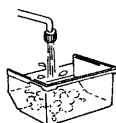
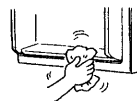
野菜ケース

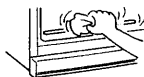
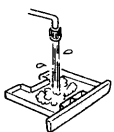
1 スライド小物ケースをはずしたあと、少し持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、ドアを傾けます。

2 図のように持ち上げます。

お手入れのしかた

■月に１回はお手入れを。

お手入れのポイント

ドアパッキング
汚れやすいところです。
下側もよくふきます。

汁受け
汚れや汁がたまったら、
ふき取ります。

蒸発皿
はずして、水洗いします。

ケース類
はずして、水洗いします。

⚠警告

- **はずしたあとの 冷蔵庫下部に手を入れない**
  内部に放熱器が収納されており、やけどやけがの原因になります。
- **お手入れのあとは 蒸発皿を正しく取り付ける**
  正しく取り付けられていないと、除霜水が漏れ、床や壁などを傷める原因になります。

お手入れの方法

1. 電源プラグを必ず抜きます。
2. 布にぬるま湯か薄めた中性洗剤を含ませてふきます。中性洗剤でふいた後は、水ぶきします。
3. お手入れ後、電源コードにきれつやすり傷がないことを確認します。
4. 蒸発皿が正しく取り付けられていることを確認します。
5. 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。

⚠警告

- **お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く また ぬれた手で抜き差ししない**
  感電することがあります。
- **電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は よくふき取る**
  ほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因になります。
- **電源コードや電源プラグが傷んでいたりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
  感電・ショート・発火の原因になります。
- **水をかけない**
  電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

⚠注意

- **冷蔵庫の底面に手を入れない**
  冷蔵庫の底面には鉄板があり、けがの原因になります。

お願い
- 電源プラグを抜き、次に差し込むときは、７分以上間をおいてください。すぐに差し込みますと機械に無理がかかります。
- 食用油やかんきつ類の皮に含まれている汁が付いた場合は、ふき取ってください。プラスチックが割れることがあります。
- 食品などの汁がドア表面に付いた場合は、すぐふき取ってください。そのまま放置しますと、変色することがあります。

- **化学ぞうきんをご使用の際は、化学ぞうきんの注意書に従ってください。**
- **次のものは使用しないでください。塗装面や部品を傷めます。**
  シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉せっけん・みがき粉・アルカリ性洗剤・弱アルカリ性洗剤・ワックス・熱湯・酸・たわしなど。
  特に、アルカリ性洗剤・弱アルカリ性洗剤は、プラスチックの表面を黄変させたり、プラスチックが割れることもあります。

- もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かな？と思ったら

次のことをお調べください

全く冷えないとき
- 電源プラグが抜けていませんか？
- ヒューズやブレーカーが切れていませんか？
- 停電ではありませんか？

よく冷えないとき
- 温度調節を“弱”にしていませんか？
- 直射日光が当たったり、近くにガスレンジなどがありませんか？
- 熱いものを入れたり、ドアをひんぱんに開けていませんか？
- 食品を詰めすぎていませんか？
- 周囲の風通しはよいですか？
- ドアが食品に当たって半開きになっていませんか？
- 据え付け後、じゅうぶんに時間がたっていますか？（夏場など冷えるまでに24時間かかることがあります）
- 夏場の特に暑い時期ではありませんか？（特に外気温が高いときには、冷却力が低下し、アイスクリームが柔らかくなったり、ドアポケットの温度が高くなったりすることがあります）

冷蔵室で食品が凍結するとき
- 温度調節を“強”にしていませんか？
- 周囲の温度が５℃以下になっていませんか？
- 水分の多い食品を、冷蔵室棚の奥に入れてませんか？

音がうるさいとき
- 床がしっかりしていますか？
- 据え付けが悪く、がたついていませんか？
- 背面が壁などに当たっていませんか？
- 蒸発皿が、はずれていませんか？
- 冷蔵庫の周囲に、おぼんなどが落ちて音を出していませんか？

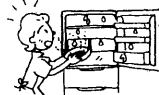
庫内のにおいが気になるとき
- においの強い食品を、ラップをしないで入れていませんか？

床面や庫内に水がたまるとき
- 蒸発皿が正しく取り付けられていますか？
- ドアが食品に当たって半開きになっていませんか？

これは故障ではありません

水の流れるような音や沸騰するような音（ボコボコ）がする
- 冷凍サイクル中の冷媒が流れる音や霜取りヒーターから発生する音で、停止中も出ることがあります。

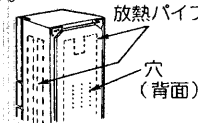
ドアを開けた時、庫内から音（ピシッ）がする
- 庫内に暖かい空気が入り、温度変化により、部品がきしむ音です。

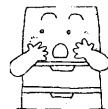
外側に露が付く 庫内に霜、氷、露が付く
- 周囲の湿度が高いとき、外側やドアパッキング、ドアに露が付くことがあります。また、ドアの開閉回数が多いとき、水分の多い食品を入れたときに、庫内（特に野菜ケース内）に露など付くことがあります。乾いた布でふき取ってください。

ドアを閉めた直後、すぐにドアを開けようとすると、ドアが重く感じる
- 庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。

ドアを開けたとき、風を切るような音がする
- 冷却運転時に庫内冷却用ファンが回転しているためです。

ドアを閉めたとき、他のドアが一瞬開く
- ドアを閉める際の、中の風圧を逃がすためです。

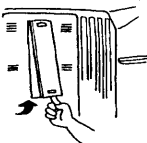
冷蔵庫の前面や側面や背面が熱く感じる
- 露付防止パイプや放熱パイプを内蔵しているためで、食品の貯蔵には影響ありません。特に夏場は、熱く感じることがあります。

※背面の穴は、冷蔵庫製作時に必要なものです。性能には影響ありません。

■以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。
アフターサービスについては、18ページをご覧ください。

こんなときには…

停電したときは

- ドアの開閉を、できるだけ少なくしてください。
- 新しい食品の貯蔵は、庫内の温度を高くするので、避けてください。

庫内灯を交換するときは

- 庫内灯カバーは、庫内の棚を取りはずしてから図のようにはずしてください。
- 庫内灯は形名をご指定のうえ、販売店にご相談ください。

⚠警告

- **庫内灯を交換するとき交換する前に電源プラグをコンセントから抜く 感電することがあります。**

長期間使わないときは

- カビが生えたり、においがこもったりしないよう、庫内を掃除し、２～３日間ドアを開けて乾燥させてください。

塗装面に傷がついたときは

放っておくと、さびが発生しますので、早めに処置してください。

（簡単な処置方法）

- 小さな傷は、シールをはる。
- 大きな傷は、防水性のある壁紙をはる。
（さびは、紙やすりで落としてから）

保証とアフターサービス

（必ずお読みください）

保証について

■この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
なお、食品の補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。

■保証期間は、お買い上げの日から１年間です。
ただし、冷凍サイクル・冷却器用ファンおよびファンモーターは、５年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を供給します。

補修用性能部品の保有期間について

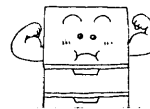
■冷蔵庫の補修用性能部品(特定フロンを含む)の最低保有期間は、製造打切後９年です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスでお困りの場合は

お買い上げの販売店か別紙(黄色用紙「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での、日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

仕様／消費電力量について

仕　様

項目		仕様
形名		R-32MVP3・R-32MVP3L
種類		冷凍冷蔵庫
有効内容積		320L
	冷蔵室	164L
	野菜室	68L　〈43L〉
	冷凍室	88L　〈46L〉
外形寸法		幅590mm×奥行698mm(ハンドル含まず)×高さ1600mm
コード長さ		2m
定格電圧		100V
定格周波数		50/60Hz 共用
電動機の定格消費電力	50Hz	122W
	60Hz	128W
電熱装置の定格消費電力	50Hz	160（霜取り時）
	60Hz	160（霜取り時）
消費電力量		冷蔵室ドア内側の品質表示ラベルに表示してあります。
質量		75kg

部品	数
冷蔵室棚	4
（うち：うすいん棚	1
ひっくり返るん棚	2
固定棚）	1
卵ケース	2
氷温ケース	1
スライド小物ケース	1
野菜トレイ	1
野菜スタンド	1
製氷皿（フタ付き）	1
貯氷ケース	1
蒸発皿	1

- 「有効内容積」は、日本工業規格(JIS C9607)に基づき、庫内部品のうち冷やす機能に影響がなく、工具無しにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。「有効内容積」には、「食品収納スペース」と「冷気循環スペース」を含みます。
- 〈　〉内は、「食品収納スペースの目安」です。引き出し式貯蔵室(野菜室、冷凍室)の場合、「有効内容積」と併せ「食品収納スペースの目安」を表示しています。
- 霜取りは１日１～２回程度、１回の霜取り時間は20～30分程度です。
- 消費電力量は日本工業規格(JIS C9607)に定められた方法で測定した値で、年平均約1ヵ月当たりの消費電力量を示します。

冷蔵庫の消費電力量について

■冷蔵庫の消費電力量（年平均１カ月当たりの消費電力量）は、'93のJIS C9607の改正によりISO（国際標準化機構）規格に準じた試験方法（JIS B法）により測定し表示しています。

■消費電力量の試験条件

	周囲温度と湿度	温度調節装置による庫内の設定温度	扉開閉	消費電力量 算出方法（kWh／月）
B法	25℃ 45～85％	冷蔵室　5℃以下 冷凍室 －18℃以下	扉開閉なし	$\frac{W_{25} \times 365日}{12} = W_{MY}$(kWh／月)
備考	★なお消費電力量は、冷蔵庫の据付場所、周囲の温度や湿度、扉の開閉数、食品の貯蔵量などにより変化します。			W_{25}：周囲温度25℃における１日当たりの消費電力量 W_{MY}：年平均１カ月当たりの消費電力量（kWh／月）